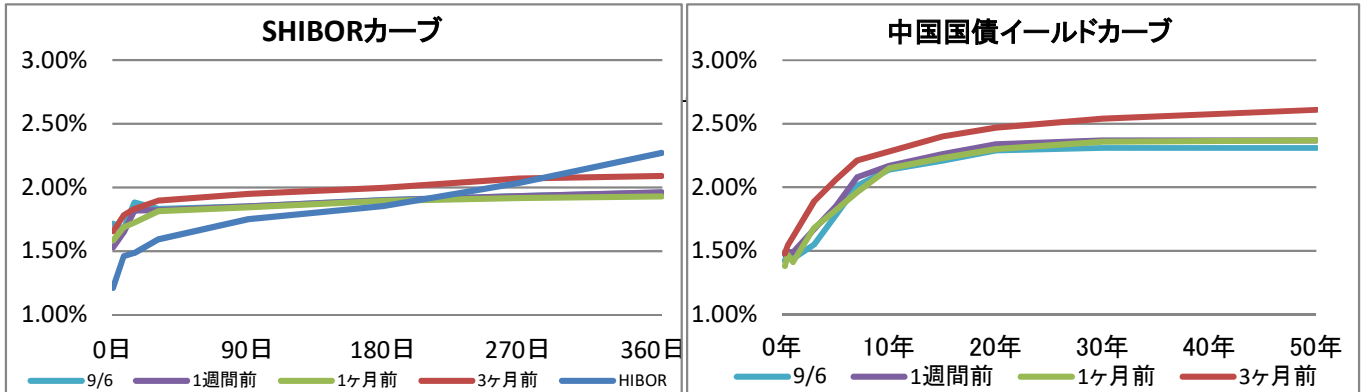


基準レート		2024/9/6	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	7.0925	-0.0199
	JPY/CNY	4.9459	+0.0405
SHIBOR	3M	1.8500%	+0.0000%
国債利回り	10年	2.14%	-0.03%
上海総合指数		2,765.81	-76.40



(1) 概況

国際金融市場では、米国では週末の雇用統計を前に雇用関連データで減速傾向が確認され、注目された雇用統計も概ね予想通りだったものの、FRBの大幅利下げによるソフトランディング期待から高値を更新していた株式市場は下落に転じる調整相場となり、前週に過度な利下げ期待の調整を終えていた債券市場では利回りが低下に転じ、2年-10年の逆イールドも解消する区々の反応となった。外為市場ではドルが売られ易い展開に転じている。

中国金融市場では、悪化が進む不動産市場や外需と消費の減退懸念から株式市場の下落が続き、債券市場では金融当局の監督強化懸念が根強いものの、景況感の一段の悪化により利回りが低下し、外為市場では世界的なドル安から元高となつてはいるものの、中国人民銀行の金融緩和期待や大手行のドル買い報道により、7.1台をやや下回る緩やかな元高となっている。

中国では、習主席が、北京開催の中国アフリカ協力フォーラム首脳会合で、アフリカ諸国との2国間関係の戦略的関係への格上げや3,600億元（約7.2兆円）の資金支援等を表明し、国務院は、「サービス貿易の高い質の発展を推進する意見」を公表し、サービス貿易にかかるネガティブリストの改善や専門家人材の交流促進、同分野の資金フロー管理改善等の方針を示し、司法部は、国務院記者会見で、金融分野のリスク予防・解決等の観点から、銀行業監督管理法等の金融分野における法律・法規の改正を加速させる方針を示した。商務部は、カナダの追加関税方針に対しWTOでの協議を要請し、米通商301条に基づく中国製品への追加関税方針に対して全ての関税を即時撤廃するよう要求。中国人民銀行・貨幣政策司長は記者会見で預金準備率の引き下げ余地に言及し、易綱・人民銀行前行長は上海でのフォーラムで、「デフレ圧力との闘いに注力し、当面の焦点はGDPデフレーターをプラス転化させること」と発言。国泰君安証券は海通証券と合併する旨を公表。

(2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日14,018億元に対して、リバースオペ2,102億元を実施し、11,916億元を吸収。

(3) 主な経済指標

・財新PMI（8月）は、製造業が50.4（7月、49.8）と、生産や受注を主因に2カ月振りに50を回復したものの、外需の弱さや価格低迷が確認される先行きに不安の残る内容となった。サービス業は51.6（7月、52.1）と、20カ月連続で50は上回ったものの、経営活動や新規受注の低下を主因に前月を下回り、伸びは今年最低。総合は、51.2（7月、51.2）と横ばい。

②資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.7160%	1.7500%	1.7500%	
1W	1.6760%	1.9000%	2.0300%	1.8000%
2W	1.8800%	2.2000%	1.9500%	1.8300%
1M	1.8310%	1.8200%	1.9000%	1.8700%
3M	1.8500%	2.1500%	2.0000%	1.8800%
6M	1.9010%		2.0200%	1.9600%
9M	1.9310%			1.9700%
12M	1.9600%	2.6000%		1.9700%

中国人民銀行は、例月通り前月末に供給した資金の吸収を進めており、金曜日には大幅な供給超過に転じたものの、週間では大幅な吸収超過となっている。短期資金市場では、金融緩和期待は高まるものの、四半期末が意識されてターム物の金利水準は高止まり、出会いも限定的な状況が続いている。

NCD市場でも、概ね変化は見られないが、四半期末を意識した1カ月がやや上昇している。ターム物の金利水準は、1カ月から3カ月までが1.8%台後半、6カ月は1.9%台半ば、1年は1.9%台後半で取引されている。

(2) 米ドル資金（本土内）

	BID	OFFER
ON	5.34%	5.35%
1W	5.48%	5.50%
1M	5.45%	5.50%
3M	5.30%	5.40%
6M	5.20%	5.30%
12M	5.10%	5.20%

中国国内市場では、FRBの利下げ幅を占う雇用統計を控えて、長めの期間でオフアーサイドが積極化している。ターム物の出合いは、四半期末越えとなる1カ月は5.5%前後にやや上昇している一方、3カ月は5.3%台に低下している。

③人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	1.42%		1.86%	1.94%	2.11%
6M	1.47%		1.94%	2.00%	2.15%
1Y	1.44%	1.57%	1.95%	2.01%	2.17%
3Y	1.55%	1.76%	2.03%	2.09%	2.26%
5Y	1.78%	1.95%	2.10%	2.19%	2.38%
10Y	2.14%	2.23%	2.31%	2.41%	2.69%

米国債券市場は、FOMCでの利下げ幅を占う週末の雇用統計前に雇用の鈍化を示す指標を受けて、景気鈍化懸念と積極的な金融緩和期待が高まり利回りは低下に転じ、注目された雇用統計も雇用市場の鈍化傾向を確認する内容となったことから、利回りは一段と低下し、2年-10年の逆イールドが解消する展開となった。中国債券市場でも、不動産市況悪化や銀行の減益決算等から先行き懸念が一段と高まり、中国人民銀行の高官や前総裁の金融緩和に前向き発言も続き、四半期末を前に利回りは低下に転じている。この結果、10年米国国債利回りは3.71%（前週末比-19bp）に、10年中国国債利回りは2.14%（同-3bp）へとそれぞれ低下に転じ、利回り差は157bp（同-16bp）へと大幅な縮小に転じている。

中国債券のイールドカーブは、当局の監督強化姿勢への警戒に変化はないものの、世界的な長期金利低下と中国人民銀行による利下げ期待等から中期債を中心に全体的に利回りが低下している。クレジットスプレッドは、利率債の利回り低下が相対的に大きく、小幅ながら拡大が続いている。

④先物為替市場

	USD / CNY
1M	-226.4 / -225.8
3M	-650.0 / -649.0
6M	-1,208.5 / -1,205.0
9M	-1,710.0 / -1,705.0
12M	-2,125.0 / -2,121.0

対ドル基準レートは7.0925と前週末比-199pipsのドル安元高、対円基準レートは4.9459と+405pipsの円高元安と、ほぼ市場実勢水準での設定が続いている。中国国内市場では、世界的にFRBの金融緩和期待によるドル安トレンドとなる中、国内経済の先行き懸念や中国人民銀行の金融緩和期待、大手国有銀行によるドル買い等からドルが底堅く推移していたものの、米雇用統計を前に7.1台を割り込んで、週末を迎えている。

先物は、米国での大幅利下げ期待の修正や中国の金融緩和期待の高まり等を背景とする米中金利差縮小や国外からの資金流入の一巡等から、ターム物のマイナス幅が拡大に転じており、1年物は前週の-2000台前半から-2100台前半まで拡大している。

⑤金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	1.82%		1.75%
6M	1.79%	1.91%	1.75%
9M	1.74%	1.84%	1.75%
1Y	1.70%	1.79%	1.75%
3Y	1.68%	1.77%	1.75%
5Y	1.74%	1.83%	
7Y	1.83%	1.91%	
10Y	1.92%	2.01%	

金利スワップ市場では、債券市場での利回り低下を映じて、中期を中心にやや大幅な低下に転じている。スワップスプレッドは、概ね変化なし。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。